



3月19日、全国からバトラーが集結 第2回 ビブリオバトル 全国大会 in いこま 直木賞作家 朝井リョウさんのトークイベントも同時開催

3月19日（日）、生駒市図書館は「第2回ビブリオバトル全国大会 in いこま」を開催します。全国大会は、昨年に引き続き2回目の開催で、今年は参加団体の応募地域がさらに拡大し、北は北海道、南は九州から参加で、文字通りの「全国」大会となります。今回は、12月に当館で開催した「第2回生駒市長杯ビブリオバトル市内中学生大会」で優勝された、光明中学校1年生の清家理司（せいけ さとし）さんもバトラーとして参加されます。また、若い読者から圧倒的な支持を得ている、2013年に「何者」で第148回直木賞を受賞された作家の朝井リョウさんをお迎えし、トークイベントを行います。「本を愛する人」、「愛されている本」、「愛される本を書く人」全てをつなぐ日として、全国の読書好きの祭典となるよう、楽しく熱い一日にしたいと考えています。また、生駒のおみやげ等も販売します。



第1回全国ビブリオバトル in 生駒のようす

■ 第2回ビブリオバトル全国大会 in いこま

- ◇ 日時 3月19日（日） 10:00～ 予選開始
- 13:15～ 朝井リョウさんトークイベント（無料）
- 15:00～ 決勝
- 16:30～ 朝井リョウさんサイン会
- ◇ 会場 生駒市図書館（生駒市辻町 238 番地）
- ◇ 定員 バトラー30名（定員に達しました） 観戦者約400名（2月15日現在約312名応募済）
- ◇ 主催 ビブリオバトル全国大会 in いこま実行委員会、生駒市図書館、生駒ビブリオ倶楽部
- 後援 ビブリオバトル普及委員会、活字文化推進会議
- ◇ 優勝賞品
 - ① 直木賞作家、朝井リョウさんのサイン色紙
 - ② 初心者でも抹茶やコーヒーが点てられる「マグカップ・マドラーDEお茶」
 - ③ ふんわりほのかな酒粕風味が大人気の「たけひめプリン」
- 予選チャンプ賞品
 - ① 入手困難な幻のラムネ「レインボーラムネ」
 - ② ここでしか手に入らない「生駒ビブリオ倶楽部公式キャラクター“ほんのむしくん”のイラスト入り文庫本ブックカバー」
- 発表者参加賞 吉野葛ハンカチ

■ ビブリオバトルとは

ビブリオバトルとは、みんなで集まって5分で本を紹介し、読みたくなった本（＝チャンプ本）を投票して決定する知的書評合戦で、次の手順で行います。

- ① 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まります。
- ② 順番に一人5分間で本を紹介します。
- ③ それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分で行います。
- ④ 全ての発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員一票で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とします。



第1回全国ビブリオバトル in 生駒のようす

■ 生駒市とビブリオバトル

生駒ビブリオ倶楽部の発足は、平成25年6月23日。倶楽部員と生駒市図書館が協働でビブリオバトルを企画・運営し、月1回の定期開催をはじめ、全国大学ビブリオバトルの予選会や、関西大会・全国大会、生駒市長杯ビブリオバトル市内中学生大会を開催するなど、活動の幅を広げています。地域に根づいた着実な活動のみならず、ビブリオバトルコミュニティを全国にわたり広くつなぐ活動が高く評価され、Bibliobattle of the Year2016の優秀賞を受賞しました。

行政と市民団体の協働により、読書に親しむ機会を提供し、地域の読書振興や活性化、青少年の豊かな情操を育むことに寄与するとともに、地域の読書活動のさらなる広がり、発展に貢献することを目的としています。

■ 朝井リョウさんのプロフィール

1989年、岐阜県生まれ。小説家。大学在学中の2009年、『桐島、部活やめるってよ』で第22回小説すばる新人賞を受賞しデビュー。11年『チア男子！！』で第3回高校生が選ぶ天竜文学賞を、13年『何者』で第148回直木賞を、14年『世界地図の下書き』で第29回坪田譲治文学賞を受賞。他の作品に『星やどりの声』、『もういちど生まれる』、『少女は卒業しない』、『スペードの3』、『武道館』、『世にも奇妙な君物語』、『ままならないから私とあなた』、エッセイ集に『時をかけるゆとり』。最新刊は『何様』（新潮社）。

この件に関する報道関係からのお問い合わせ

生駒市図書館（館長 向田、図書係長 脇本） ☎0743-75-5000

生駒ビブリオバトルHP <https://ikomabiblio.jimdo.com/japan-1/第2回全国大会 in いこま/>